



とうみ混声合唱団25周年記念演奏会



とうみ混声合唱団

創立二十五周年記念演奏会

七月三日サンテラスホールに於て、とうみ混声合唱団の記念演奏会が開かれ、団員三十二名のステージが披露された。会場は満員の盛況で一月以来練習を重ねられたという、ミュージカル「マイ・フェア・レディ」オペレッタ「メリー・ウイドウ」等がよく知られているメロディは、拍手が鳴りやまない程であった。とうみ混声合唱団の前身は東部町混声合唱団で昭和五十一年に発足した。

この日のステージは指揮、高木房雄さんピアノ、島田みのりさん、団長、庄村茂さんと団員による演奏で、モンテヴェルディの曲四曲、金子みすずの世界を表現した組曲「みすずこのみち」ミュージカル「マイ・フェア・レディ」オペレッタ「メリー・ウイドウ」からおなじみの曲を次々と演奏された。特に手作りというカラフルな衣装は素晴らしく会場の人びとは皆歌に演技に引き込まれた演奏会であった。団員の皆さんは一月から練習を始め、六月に入ってからほぼ連日の練習をされたという。コミカルなステージ有り又、大人の世界をしっかりと演じるなど、専門家によるボイストレーニングや振り付けもあいまって見事な演奏会となった。

心豊かな東御市づくりを

目指して



東御市長
土屋 哲男

昨年四月に東御市が誕生し、二年目を迎えました。

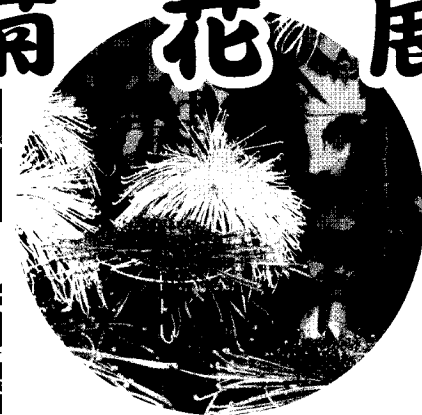
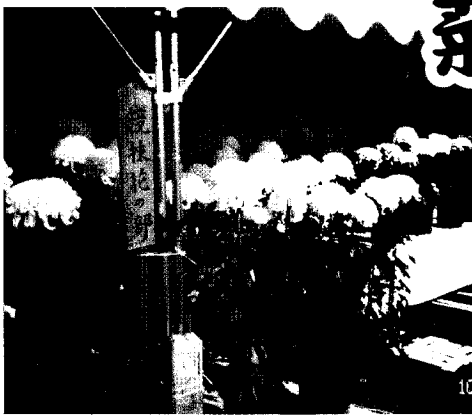
現在、本年三月に策定した「第一次東御市総合計画」に基づき、新たなまちづくりを肅々と進めております。

そのひとつとして、地域の伝統文化を守りながら新たな文化を創造し、生活の中に文化や芸術の薫りがするまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

当市は、歌舞伎などの地域の伝統文化が脈々と受継がれ、また、文化振興に思いを寄せる方々の取り組みも非常に活発です。その中心にありますのが、貴文化協会であり、当市の文化振興の一翼を担っていただいております。

市民一人ひとりが心豊かに暮らしていくためには、文化を守り育てていくことが非常に重要です。これからも、貴文化協会のお力をお借りし、市民との協働により、文化の振興を図り、心豊かな東御市づくりを進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

菊花展



平成十七年度文化協会について



東御市文化協会長
福島 慎雄

東御市文化協会になって二回目の総会が四月十五日開催されました。多年に亘りグループの中核となって活動された方三名が功労者表彰を拍手の中に祝福され受賞されました。来賓として

楽しい・嬉しい人間関係づくり



東御市公民館長
今泉 正毅

「楽しくて、元気が出ます」「張り合いがあって、励みになります」「安心して語り合えるので、気が休まり、癒されます」など。部会のグループや生涯学習講座等の活動に熱心に参加されている皆さんからお聴きする言葉です。

このような楽しさや嬉しさについてお聴きして、大事なことを幾つか教えられました。例えば絵画や音楽、文学等のそれぞれの世界から、皆さん一人一人が真剣に求めている、心を豊かにする、生きがいとは、何でしょうか。

市長、議会議長さんから「新しい市の文化を育む街づくりの推進を」との御祝辞をいただきました。

十年間という長い間副会長を勤められた小林俊子さんが退任され、後任に栗原陽子さん（書道部会）が就任されました。

監事の方々も各々新旧交替されましたが、今后共一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

その一つ、自分が本当にやりたいこと、学びたいことを選んでできる満足感なのだろうか。自分がどこまで力を伸ばし向上できるか、自分の可能性に期待をもてる自信なのだろうか。

その二つ、共に汗をかき、共に心をつかう、自分の人生にとって重要な仲間との出会い、その人間関係づくりへの期待や成就感なのだろうか。特に家族、親族、近隣でさえ人間関係が薄くなっていると懸念される現今、人の気持をだいに、互いに心を開き、信頼し、勇気づけることができる人間関係づくりが、生きがいの重点として強く求められているのだと思います。

東御市文化協会、各部会の一層の充実、ご発展をご期待致します。

次代につなぐ歩みを



文化協会副会長
栗原 陽子

四月より副会長の大役を仰せ付かりました。元より非力ではございますが一生懸命努めさせていただきま。よろしく願い申し上げます。

平成十四年九月発行の三十周年記念誌「あゆみ」を改めて読ませていただきました。各地区のあちこちで、指導者や個人の家を使って活動していた小さなグループが、昭和四十八年文化協会発足と共に各部門ごとに組織されていった過程がみずみずしく語られています。そして学習する場を与えられた会員があたかも水を得た魚のように生き生きと活動されている様子が伺えました。私自身、末の子の保育園入園を機に、公民館の講座に初めて申し込んだ時の心躍りを未だに忘れません。そこには地域や年代を越えた学びの場があり、私のように他地域から嫁いだ者にとっては心おきなく語れる友人を得る大切な場所となりました。

生涯学習の目的は、学んだことを自分だけの喜びに留めず、身近な人や地域に還元することにより、更に自らを高めた地域社会の文化向上に役立つこと、と言われます。

最近指導者の高齢化により解散するグループが増えていくことと考え合わせ、一緒に学んだ仲間の中から新たな指導者を出し、更に新しい仲間を加えていく、そんな段階に移ってきていま

菊花展



す。そのためには一人ひとりが目標を設定し、日々の学習には適度な緊張感を持って臨むことが大切ではないでしょうか。自分自身の学習態度を反省しつつそんなことを考えています。

平成17年度 東御市 功労者表彰受賞者



前文化協会副会長
小林 俊子

去る十一月十七日に行なわれました平成十七年度東御市表彰式典において、前副会長小林俊子さん(栗原)が、長年の文化振興に尽くされた功績により、文化功労表彰を受賞されました。

文化協会に支えられて

小林 俊子

この度思いがけずに文化功労表彰を頂きました。光栄に思い感謝しております。

私は昭和六十三年に「レザークラブトからくさ会」を主宰して、文化協会に加入しました。平成七年に副会長に推され、以後微力ながら十年間努めさせて頂きました。

中でも三年前の三十周年記念事業推進は忘れられない貴重な思い出です。また文化協会を基盤に、丸山晩霞記念館建設研究委員会や幾つかの活動も経験し、私の人生にとって大きな宝となった時期でした。

最後に、文化協会のますますのご発展を祈ります。

平成十七年度東御市文化協会 功労賞表彰受賞者

川 柳

五十嵐 茂子



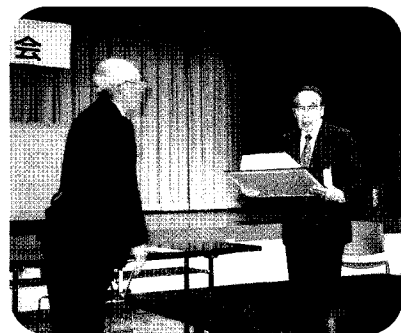
棋 道

東 城 武 利



俳 句

森 泉 透





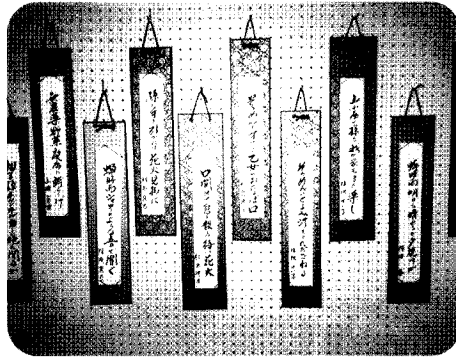
平成17年度 東御市文化フェスティバル



第2回 11月3日～5日 中央公民館



▲小学生の作品です



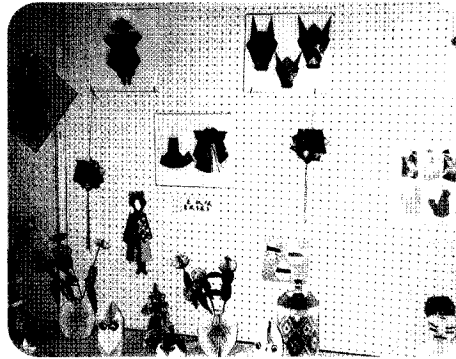
▲(川柳)



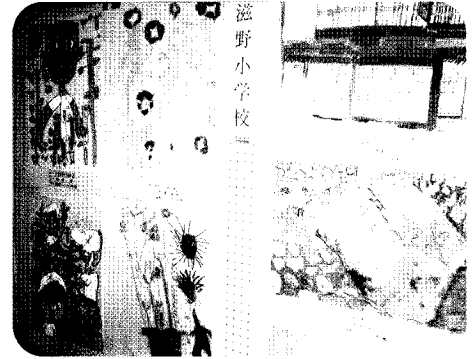
▲大作に挑戦!(生花)



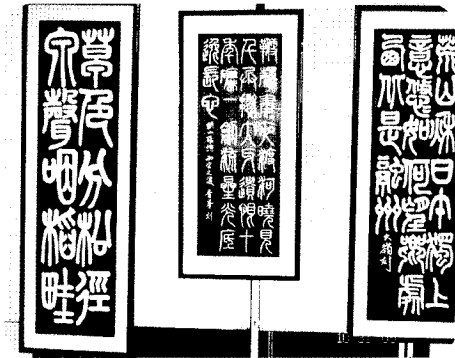
▲たくさんの工程を経てひとつの作品が生まれます(レザークラフト)



▲手の細かい作品です(折紙)



▲小学生の作品です



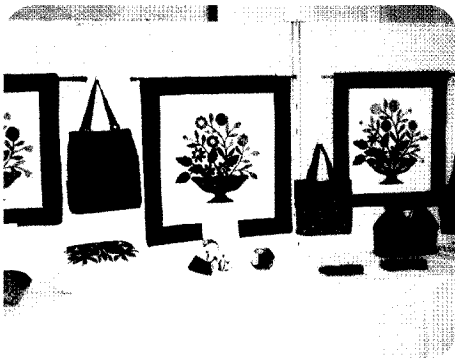
▲力作が勢揃い(篆刻)



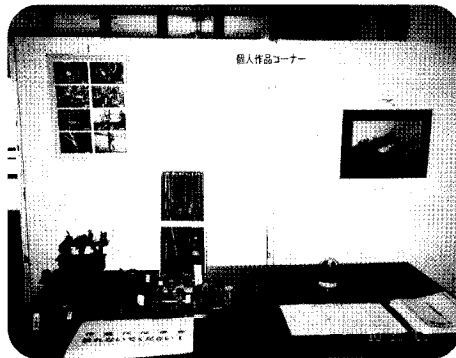
▲みことな作品ばかり(写真)



▲一服いかがですか?(茶道)



▲一针づつ心をこめた私の宝物です(パッチワーク)



▲個人の作品です



▲七宝会の作品 初めて展示されました



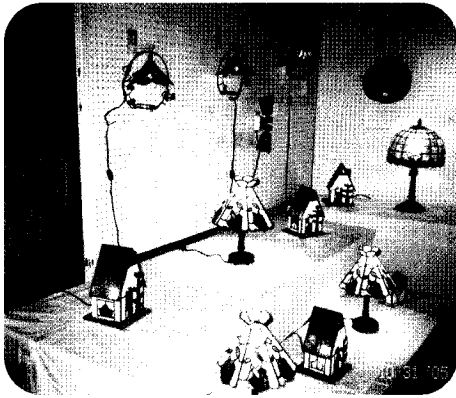
▲黒の濃淡の素晴らしさ!(水墨)



▲墨の香が匂います(書道)



▲心あたたまる作品に見とれてしまいます(絵画)



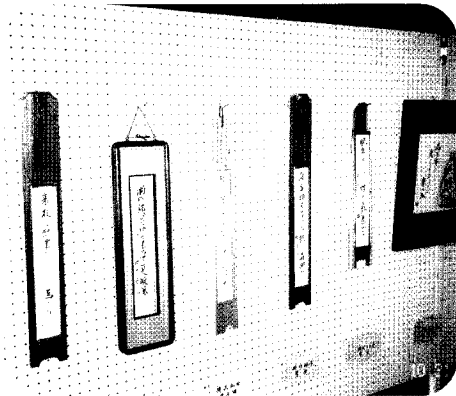
▲幻想的なあかりにウットリ



▲小学生の作品です



▲オリジナル作品の美しさに感動しました
(押花・パンプラー)



▲五七五にこめられた思いが
よく現れていました(俳句)



▲ただ感心するばかりです(表具)



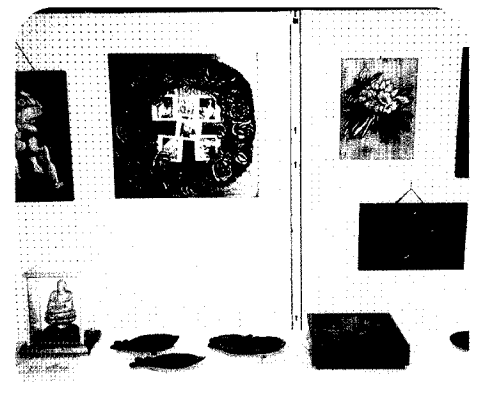
▲心のぬくもりが感じられます(陶芸)



▲一生懸命書きました



▲アクリルフラワー 美しい作品です



▲あたたかな木の作品です(木彫)

短詩型文学祭受賞者

短歌の部入賞者

市長賞

東御市和 小林 久江

教育委員会賞

東御市滋野乙 唐澤 好子

公民館長賞

東御市御牧原 渡辺 次子

文化協会賞

上田市若下 岩崎 キク

俳句の部入賞者

市長賞

東御市柵津 太田 継子

教育委員会賞

東御市和 滝沢 弘女

公民館長賞

東御市常田 深町てる子

文化協会賞

東御市常田 小林 ちせ

川柳の部入賞者

市長賞

上田市諏訪形 横関 功一

教育委員会賞

上田市諏訪形 鷺澤 昭月

公民館長賞

坂城町中之条 小宮山洋子

文化協会賞

東御市柵津 大日向紋子

現代誌の部入賞者

市長賞

東御市滋野乙 村山 弘子

教育委員会賞

上田市岡 山崎 清子

公民館長賞

東御市八重原 鳴沢サト子

文化協会賞

東御市田中 栗原 陽子

平成17年度 第2回 東御市菊花展受賞者

市長賞

依田 敕 花壇作

議長賞

中内 文江 自由花

教育委員長賞

寺田 泰明 花壇作

菊花会長賞

別府 俊勇 5本立

公民館長賞

竹内 進 管物

文化協会賞

小林 孝子 自由花

商工会会長賞

内堀 勲六 自由花

J A信州うえだ農協組合賞

春原 茂 管物

八十二銀行田中支店賞

柳沢 廉 自由花

上田信用金庫東部支店賞

岡本 愛子 自由花

菊花会特別賞

柵津小学校 自由花

棋道部会 文化協会会長杯囲碁大会

A組

優 勝 渡辺 明彦

二 位 正村 雄治

三 位 東城 武利

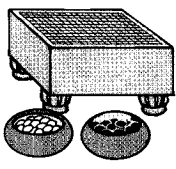
B組

優 勝 小泉喜与成

二 位 山浦 守雄

三 位 太田 正道

参加者 二十六名



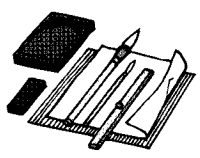
短歌部会 東詠会

東詠会は長野市より毎月指導に見える宮澤渉先生を中心に会員十三名による短歌会である。昭和五十四年（一九七九年）四月、東部町生涯学習講座の短歌部門として発足、当時アララギ派の先達であられた矢島栄人先生のご指導により、生々発展を続けその後平成四年より上小アララギの宮崎盛登先生にご指導いただき現在ヒムロの選者宮澤渉先生にご指導いただいている。その間合同歌集「吾亦紅」第一集を平成八年十一月に、第二集を平成十一年十月に第三集を平成十四年十一月に発刊した。市の短詩型文学祭には毎年入選者も多く今秋歌集「吾亦紅」第四集が発刊され、各々作歌に励んでいる。

書道部会 香東会

香東会書展

五月十三日から五月二十二日まで第十回記念香東会書展がひらかれました。会員は八名、書展会場には屏風から額、軸など二十八点が展示され、他に香墨会の賛助会員の十点が花を添え、墨の香に満ちた迫力のある作品が並びました。「書は観て、楽しんで下さい」会員の方の言葉が印象的でした。



写真部会 写団SFC ちいさなちいさな写真展



グループ「写団SFC」が出来て三十年になりました。

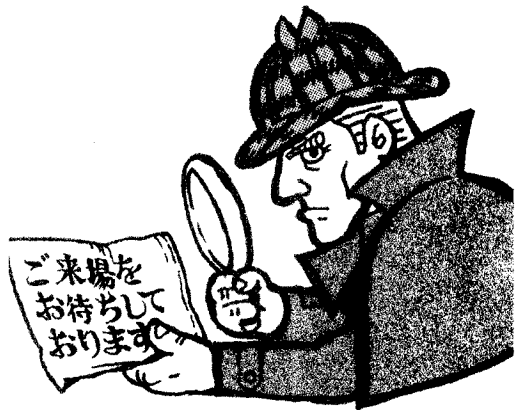
「ちいさなちいさな写真展」としては九回目、会員は三十余名で今回の写真展は特にテーマはなく会員の一年間の作品を展示しました。風景・人物・花等、身近な物を愛情をもって撮っております。

邦楽部会 グレープ



▲真剣な練習風景

文芸創作部会 シヤロックホームズと親しむ会



■連絡先 奥村 直 06-2100-1733

東御美術会のテーマ展について

代表 荻原 芳雄

東御美術会は今年で発足五十五年になります。過去、四十周年、五十周年と二回の記念事業として、記念誌の発刊、記念展等盛大に実施しました。現在、会員数は三十一名で、まず描くことを目的に毎月二回の例会をもち、特に風景画、静物画の勉強をしております。また展覧会は、春には普通一般的な会員展、秋には毎年違ったテーマを設けてテーマ展として実施し今年も「蔵のある風景展」として多くの好評を得ました。このテーマ展につきましては今年で十回目になります。平成八年の「東部町百景展」から始まり以降実施した



主なテーマは「神社仏閣」、「山のある風景」、「千曲川のある風景」等々風情ある親しまれる風景を選んで設定してきました。まずこの成果としては、テーマに向かって描くことの努力、そして展覧会という発表の場、この目標に向かつて常に苦しみ、努力するということが、心豊かな感性を養うことにつながることを思っております。私達はこうした、お互い同じ目的を持って作品に取り組み場所こそ意義深いものであると信じ、これからも技術練磨に精進し絵画の発展のために、そして地域芸術文化の向上に寄与できればと願っております。

滋野小学校に眠っていた 青い目の親善大使



▶滋野小学校プレハブ倉庫で発見された「ローズ・マリー」ちゃん。

信州御牧太鼓保存会 東町歌舞伎保存会 とうみ郷土芸能祭に演じる!

十一月六日サンテラスホールに、東信地方に伝承する唯一の地芝居「東町歌舞伎保存会」の皆さんが「一谷嫩軍記」を、百瀬善之さんが「三番叟」を演じ、信州御牧太鼓保存会の皆さんが「三宅」「勇駒」他を勇壮に演じた。



